MAKE the RULE シロベエ実行委員長、川崎に来たる

■「地球温暖化、暖かくなっていいね」との声も。

「でも、おいら達には生死がかかっている！」

高津区市民活動見本市 2009（てくのかわさき）にて

日本人の中には、「地球温暖化、暖かくなっていいね」という人がいるそうだ。「地球温暖化はない」と堂々と主張するお偉い学者もいると聞く。

でも、北極に住んでいるおいら達シロクマには、日々実感するどころか、生死の問題となっているんだ。おいら達はアザラシを主食にしている肉食獣。年々氷の面積が小さくなって、狩りをするエサ場がなくなってきた。おいら達は 800kg もある体にたっぷりと脂肪を蓄えているから、数ヶ月間絶食しても普通ならヘイチャラサ。ところが、今じゃエサが取れなくて、腹が減って死んでしまう仲間も増えてきたんだ。

「その理由は何だろう？」と、学問がないおいら達でも考えてしまう。それが人間たちの生み出す温室効果ガスのせいだと知ったんだ。そのガスをもっとも出す国のひとつが日本と聞いて、何とかしなければならんぞと思った。2008 年 8 月 1 日、仲間の期待を一身に受けて、おいらはとうとう日本にやって来た。

それから MAKE the RULE キャンペーン＝囲み記事＝の実行委員長として全国各所を廻った。2009 年 9 月 5 日と 12 月 6 日＝写真＝には、川崎で同じ志をもつ仲間たちと訴えたんだ。

「今の社会を大きく変えていかないと、人間だってたくさんの被害を受けことになるんです」

■MAKE the RULE とは？　http://www.maketherule.jp/

エコがブームになってずいぶんたちますが、CO_2 は相変わらず増えつづけ、地球温暖化の影響は大きくなってきています。

ところが日本には、CO_2 を減らすためのルールがありません。ひとりひとりの心がけにも限界があります。

いま求められているのは、社会のしくみを変えていくこと。そのためには CO_2 を確実に減らしていくための新しいルール（法律の制定）が必要です。

この星で、すべてのひとが幸せに生きつづけるために。あなたの声とアクションが、明日を変える力になります。

■ 「MAKE the RULE 川崎」は環境問題を考えるネットワークです。

川崎市には、市民・企業・行政が話し合い、知恵を絞りながら多摩川の水質汚濁を克服してきた経験があります。地球温暖化（気候変動、地球高温化）についても、同じように話し合い、行動しながら、力を合わせて社会に働きかけていきたいと私たちは願っています。

皆さん、一緒に考え、行動してみませんか！？

●MAKE the RULE 川崎
http://blog.goo.ne.jp/mr-kawasaki
●NPO アクト川崎
http://homepage3.nifty.com/act-k/
●川崎の交通とまちづくりを考える会（K-cube）
http://kcube.zouri.jp/
●川崎フューチャー・ネットワーク（KF-net）
http://blog.goo.ne.jp/kawasakifuture/
●持続可能な地域交通を考える会（SLTc）
http://sltc.jp/
●かながわ環境市民ネットワーク
http://sns.yokohama150.jp/community.php?bbs_id=209

ボランティア、参加団体募集中！

>> mrkawasaki@k.saloon.jp <<

■ 「MAKE the RULE 川崎」の誕生と歴史

2009年10月26日の勉強会で講演する榎原友樹氏

◇**2008年秋**以降、MAKE the RULE キャンペーンに賛同した川崎市内の環境市民団体が同じ目的をもって行動しようと、ネットワークを立ち上げた。

◇**2009年 2月26日**、川崎市議会に宛て『**国を挙げて地球温暖化対策を更にすすめるための「気候保護法」(仮称)の制定を求める意見書の提出に関する請願**』(請願69号）を提出。同年**10月 7日**に趣旨採択される。

◇同年 **4月22日**、川崎市平和館にて関係団体が集まり「**MAKE the RULE 川崎**」を立ち上げた。以降、毎月1度定例会を行っている。

◇同年 **7月28日**、中原市民館にて、川崎市環境地球環境推進室の担当者を招いて「**（仮称）川崎市地球温暖化対策条例の基本的考え方について**」の意見交換会を行い、21人が参加。「計画の中には目標値は入るのか？」「参加してやる気になる計画が必要」「成果と連動する仕組みが必要」など突っ込んだ議論が交わされた。

◇同年**10月26日**、『**低炭素社会を実現するために～「脱温暖化2050プロジェクト」勉強会～**』を川崎商工会議所講堂で開催、36人が参加。「主要な温室効果ガスである CO_2を1990年に比べて70％削減する技術的なポテンシャル（潜在能力）が存在することを明らかにした」という日刊工業新聞社発行『**低炭素社会に向けた12の方策**』の共同編著者である榎原友樹氏による講演と意見交換会＝写真＝を実施した。

■ お問い合わせは……

[URL] http://blog.goo.ne.jp/mr-kawasaki
[E-mail] mrkawasaki@k.saloon.jp
[FAX/TEL] 044-911-5174（川崎フューチャー・ネットワーク）
[郵便] 〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12
かわさき市民活動センター レターケース5番 持続可能な地域交通を考える会